

世界遺産と

環境問題



入場無料

受付中
先着100名
(裏面参照)

12月
21日(土)
13:30~16:00

ろうきん ホール

徳島市南末広町
徳島県立テクノスクール内

四国遍路の 世界遺産化活動を 富士山に学ぶ

富士山は世界遺産として、日本の宝物から世界の宝物になった。年間30万人が押し寄せるが、さまざまな環境問題を抱えている。世界遺産と自然保護の

「共生の知恵はあるのか。」
四国遍路の世界遺産化を目指そうとする
四国人にとって富士山の問題は今、
自分たちの課題そのものでもある。

▼講師

富士山世界遺産の先導役

渡辺豊博さん

(特)グラウンドワーク三島
専務理事・都留文科大学教授



過去十年以上にわたり、富士山の環境問題に取り組み、数々の活動は世界遺産登録の大きな力になった。平成8年より9年間、徳島県主催「自然共生塾」の開講講師として徳島に来られた。全国はもちろん、県内にも環境活動原動力の師として仰ぐ人は数知れない。

スケジュール

13:30~14:00 遍路道の現状
14:00~15:30 渡辺講師の講演
15:30~16:00 質疑応答

主催/徳島県広域行政課 企画運営/NPO法人徳島共生塾一步会

共催:徳島経済同友会、徳島ユネスコ協会、エコみらいとくしま 後援:生物多様性とくしま会議 四国環境パートナーシップオフィス
平成25年度徳島県民協働事業「遍路道保全とお接待文化の継承プロジェクト」

